

なすしおばら

平成30年6月20日発行

第70号

社協だより



こころまる ふれあいの旅!!

今回は、東三島地区内の水田で行われた「唄で田植え祭り」に行ってきたよ。田植え唄に合わせて、子どもたちがいきいきと苗植えをしていたよ。

地域の大人も子どもも一緒になって郷土の文化を学ぶこの催しは、始まって20年目を迎えたんだ。秋に美味しいお米が収穫できるといいな!!

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。詳しくは社協総務課までご連絡ください。



平成29年度の事業報告をします

市の地域福祉計画と一体的に策定した「地域福祉活動計画」（計画の期間：平成29年度～平成33年度）の概要版を地域住民、本編・資料編を地域の関係者・福祉事業者・NPO等に配布しました。

計画の初年度である平成29年度は、各課題の解決に向け、計画に沿って取り組みました。

また、地域住民同士の助け合い活動を推進するため、地域ぐるみでの見守り体制づくりや自治会などが主体となった地域福祉活動の支援を行うなど地域のつながりをサポートさせていただきました。更にボランティアセンターのスタッフを増員し、様々なボランティアに関する相談・紹介等の充実を図ったり、他にも、生活上の困りごとや不安を抱えている人の相談支援なども行いました。ここでは事業の一部を紹介します。

地域の福祉活動を支援するために

地域住民助け合い事業

本事業3年目の平成29年度は、10地区の公立公民館（黒磯公民館、鍋掛公民館、とようら公民館、東那須野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、西公民館、塩原公民館、ハロープラザ）に1名ずつ地域支え合い推進員を配置し、地域ぐるみでの見守り体制づくりを進めました。なお、平成29年度末現在、54の自治会が見守り活動に取り組んでいます。

地域福祉活動補助事業

自治会等が主体となり地域で行う地域福祉活動へ補助金を交付しました。

補助事業件数：99団体 182事業

補助金交付額：9,196,000円

福祉協力店

地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録し、地域福祉活動の拠点づくりを推進しました。

登録事業所：84件



地域福祉活動補助事業
太夫塚自治会 田んぼの学校事業の様子

地域の福祉サービスの充実のために

日常生活自立支援事業（あすてらすなすしおばら）

認知症高齢者や障がい者などが、地域で安心して生活できるように支援しました。

契約件数：159件

生活困窮者自立支援事業・家計相談支援事業

生活上の不安（住居や就職等）を抱える人への自立に向けた支援や、困窮世帯の家計相談支援などを行いました。

相談件数：139件

給食（黒磯地区）・配食（西那須野地区）サービス事業

ボランティアに協力をいただき、お弁当を届けながら利用者の生活を見守りました。

利用者数：「給食サービス」55人 「配食サービス」93人



給食サービス会食会の様子

ふれあい相談事業（心配ごと相談、無料法律相談）

日常生活上の相談や、弁護士による無料法律相談を実施しました。

相談件数：「心配ごと相談」33件 「無料法律相談」312件

ボランティアを支援するために

ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談や、ボランティアの紹介等を行いました。

センター相談件数：2,514件

ボランティア登録数：67団体(1,585人) 個人(88人)

ボランティア依頼数：753件 活動人数：述べ1,294人



げんごろうの会 花植え活動の様子

介護サービスの充実のために

居宅介護支援事業所

介護に関する相談・サービス利用の支援を行いました。

延べ利用者数：2,561人

訪問介護事業所

利用者宅に訪問し、身体介護（食事・入浴介助など）や家事支援（掃除・洗濯など）のサービス支援を行いました。

延べ利用回数：「介護保険」5,403回

延べ利用者数：「障害福祉」557人

通所介護事業所

すこやかデイサービスセンターにおいて、レクリエーションや食事、入浴などのサービスを行いました。

延べ利用者数：3,255人

※H30.3.31をもちまして事業を終了しました。



障がいのある方を支援するために

相談支援事業所の運営

計画相談支援サービスの提供を行いました。

利用者数：429人

地域生活支援事業「ふれあいの森」の運営

企業からの請負作業や農作業などを行い、利用者一人ひとりの能力や適性に応じた支援を行いました。

利用者数：19人

生活介護・就労支援事業「心の里」「つくし」の運営

企業からの請負作業や農作業、クッキー作りなど生産活動の就労機会を提供しました。また、身体機能の維持、生活能力の向上のために支援を行いました。

利用者数：「心の里」26人 「つくし」25人



療育訓練の様子



七夕の様子



平成29年度の決算報告をします

● 資金収支計算書

(単位：円)

収入		
勘定科目 (大)		決算額
事業活動	会費収入	12,101,300
	寄附金収入	3,022,627
	経常経費補助金収入	173,078,968
	受託金収入	54,058,238
	貸付事業収入	1,983,180
	事業収入	3,845,857
	介護保険事業収入	84,602,404
	就労支援事業収入	8,267,709
	障害福祉サービス等事業収入	128,263,427
	受取利息配当金収入	2,100,446
	その他の収入	2,944,635
	施設整備等	施設整備等補助金収入
その他の活動	基金積立資産取崩収入	30,184,481
	積立資産取崩収入	10,383,173
	その他の活動による収入	7,031,400
	合計	522,367,845

支出			
勘定科目 (大)		決算額	
事業活動	人件費支出	390,342,718	
	事業費支出	13,538,027	
	事務費支出	48,094,486	
	就労支援事業支出	8,349,309	
	貸付事業支出	1,845,180	
	共同募金配分金事業費	7,220,709	
	助成金支出	13,630,780	
	負担金支出	120,000	
	その他の支出	1,000	
	施設整備等	固定資産取得支出	1,418,364
		基金積立資産支出	23,322,646
積立資産支出		14,985,330	
その他の活動	その他の活動による支出	13,021,320	
	予備費支出	0	
合計		535,889,869	

前期末支払資金残高	63,741,550
当期末支払資金残高	50,219,526

● 貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
勘定科目 (大)	当年度末
流動資産	97,948,407
現金預金	51,332,436
事業未収金	38,863,460
未収金	5,350,133
立替金	2,248,171
仮払金	154,207
固定資産	927,236,199
基本財産	167,284,546
建物	164,284,546
定期預金	3,000,000
その他の固定資産	759,951,653
建物	383,464
構築物	11,015,228
車輛運搬具	10,293,693
器具及び備品	3,441,193
ソフトウェア	131,868
長期貸付金	2,416,000
退職手当積立基金預け金	153,526,720
退職手当積立資産	208,463,813
福祉基金積立資産	296,143,675
財政調整基金積立資産	27,124,693
善意銀行積立資産	9,071,774
交通遺児基金積立資産	2,076,126
介護保険事業運営基金積立資産	25,863,406
多機能型事業所運営基金積立資産	10,000,000
資産の部合計	1,025,184,606

負債の部	
勘定科目 (大)	当年度末
流動負債	47,728,881
事業未払金	20,358,765
その他の未払金	25,377,782
預り金	1,498,032
職員預り金	308,302
仮受金	186,000
固定負債	229,966,640
退職給付引当金	229,966,640
負債の部合計	277,695,521
純資産の部	
勘定科目 (大)	当年度末
基本金	3,000,000
基本金	3,000,000
基金	361,207,900
福祉基金	296,143,675
交通遺児基金	2,076,126
財政調整基金	27,124,693
介護保険事業運営基金	25,863,406
多機能型事業所運営基金	10,000,000
国庫補助金等特別積立金	134,303,575
国庫補助金等特別積立金	134,303,575
その他の積立金	9,071,774
善意銀行積立金	9,071,774
次期繰越活動増減差額	239,905,836
(うち当期活動増減差額)	△37,062,284
純資産の部合計	747,489,085
負債及び純資産の部合計	1,025,184,606

認知症当事者の会「オレンジドアにしなす」がスタートしました！

西那須野地区の住民と医療・福祉関係者で地域の課題を話し合う場「にしなすケアネット」において、認知症当事者の会の必要性について意見が出ました。そこで、当事者を交えて話し合いを重ね、4月から居場所として立ち上がった「オレンジドアにしなす」。もの忘れなどの不安を抱える方や認知症と診断された方、そのご家族が自分の気持ちを語り、少しでも気持ちを軽くして帰る、そんな場所になっています。

スタートして間もないですが、参加者からは「ほっとできる場所にしてほしい」「悩んでいる人にだいじょうぶと伝えたい」との声があがっています。当事者が中心となり、来てよかったと思える居場所をつくっていきたくと考えています。

認知症の方やそのご家族は、一歩踏み出して「オレンジドア」を開けてみませんか。お待ちしております。



日時

第1火曜日と第3火曜日
午前10時～11時30分

お問い合わせ先

那須塩原市社会福祉協議会 地域支援係
電話：0287-37-5122

場所

健康長寿センター
旧すこやかデイサービスセンター
(那須塩原市南郷屋5-163)

主催

オレンジドアにしなす実行委員会

参加費

200円 (お茶代として)

後援

にしなすケアネット企画運営委員会

栃木県運営適正化委員会からのご連絡

栃木県運営適正化委員会は、福祉サービスに関する苦情や相談をお受けし、事業所への調査や話し合いによるあっせんを行う等、苦情の解決を図ります。

例えばこんな時……

- ・約束したはずのサービスが受けられない。
- ・支援の仕方が乱暴だ。職員の言動に傷つけられた。
- ・もう少しプライバシーを守ってほしい。等

相談は電話や来所の他、文書やメールでも受け付けています。



連絡先：栃木県運営適正化委員会 (宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内)
TEL 028-622-2941 / FAX 028-622-2316
E-mail asu..sw@dream.ocn.ne.jp

相談時間：月曜日から金曜日 午前9時から午後4時 (祝日・年末年始は除く)

その他：相談料等はすべて無料です。 秘密は厳守します。
来所の際は事前にお電話ください。

ボランティアセンターだより

この夏、中高校生ボランティアサマースクールが リニューアルします！

次代の社会を担う中学生・高校生がボランティア体験活動をとおして社会参加を図り、福祉に対する理解と関心を深めることと若年層のボランティア養成を目的に実施してきましたボランティアサマースクールが1年間の休止を経て、この夏リニューアルします。

《これまでの課題》

中高校生ボランティアサマースクール（以後「ボラサマ」という。）は、毎年多くの事業所やボランティアの協力を得て、300人～400人の中学生・高校生を対象に福祉施設等でのボランティア体験を実施してきましたが次のような課題がありました。

- ・ 目的や動機を明確に持ち参加してもらうにはどうすればよいのか？
- ・ ボランティアをより意識して活動してもらうためにはどうすればよいのか？
- ・ ボラサマ参加が目的化しないプログラム作りはどうすればよいのか？
- ・ ボラサマ終了後も、またボランティアをしたいと思ってもらうためにはどうすればよいのか？ など

《今年度の目的》

ボランティアの魅力に触れる機会とボランティアの理解をより深めていくことのできるプログラムとして再開します。



点字体験講座の様子



高齢者施設での体験の様子

高校生プログラム

単にボランティアに参加するというだけでなく、プログラムの中で、自分ができるとは何かを考え、目的をもってボランティアに参加できるような内容にしました。ボランティア活動を通して、自分の気持ちがどう変わったのか、何を感じたのかなど、ボランティアの魅力に気付けるよう「事前学習・活動・ふりかえり」を取入れました。

ボランティアの魅力に触れ、未来のリーダーに育っていく一歩となるプログラムです。

- 事前学習…認知症サポーター養成講座、話の聞き方講座（傾聴講座）など
- 活動…高齢者施設や障害者施設での体験、地域活動の体験（選択制）
- ふりかえり…ワークショップや参加後の評価など

中学生プログラム

ボランティア活動につながる体験を中心とした内容にしました。福祉のことやボランティアについてを体験しながら、楽しく学ぶことができるプログラムです。

- ボランティア体験講座…手話、点字、音訳などの福祉体験や災害ボランティア講座など
- ふりかえり…ワークショップや参加後の評価など

誰もが参加できるプログラム

福祉やボランティアについて学ぶ機会として、誰もが参加できる福祉映画上映会などを開催します。

- 福祉に関する映画会と講演

リニューアルしたボラサマをきっかけに若い世代のみなさんがボランティア活動や地域活動に一歩を踏み出してくれることを期待します。

平成30年度 那須塩原市社会福祉協議会会員募集のお知らせ



社協キャラクター こころまる

みなさまの会費が地域の福祉を支えます

那須塩原市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき地域福祉の推進を担う社会福祉法人として市民一人ひとりの皆様の御理解と御協力に支えられ、各種事業を展開しております。

「人がつながり新しい力が湧きあがるまち」を基本理念とする本会の活動は、多くの皆様が会員となり会費を納めていただくことによって、継続的に地域福祉の推進を図っています。

福祉のまちづくりを進めるため、会員募集のお願いをしております。

**募 集 期 間
及 び 方 法**

平成30年5月～平成31年3月（年間を通して受け付けています）
各家庭には自治会を通してのご案内、施設・法人・企業等へは直接事業所に郵送にてお願いしています。

会 員 の 種 類

普通会员・・・世帯単位での加入 1口以上 500円
特別会員・・・会社、事業所等の加入 1口以上 3,000円
施設会員・・・福祉関係施設等の加入 1口以上 5,000円

まごころありがとうございます

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。

平成30年3月1日～4月30日寄付分

（ ）の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略

福祉基金へ	
歌の仲間竹の子の会	(67回目) 10,000円
ハロープラザ料理教室受講生一同	(1回目) 1,785円
和み&あんず歌謡会	(5回目) 20,000円
三島中学校昭和49年度同窓会一同	(1回目) 12,000円
那須塩原市在宅老人介護者の会	(3回目) 31,911円
公益社団法人那須塩原市シルバー人材センター	(2回目) 1,000円
下豊浦自治会役員一同	(1回目) 6,000円
黒磯地区婦人会	(19回目) 3,000円
あつさき公民館まつり実行委員会	(6回目) 34,882円
那須塩原ソフトテニス連盟	(16回目) 54,300円
株式会社ヒーローライフカンパニー	(16回目) 20,000円
公益財団法人日本電信電話ユーザ協会那須塩原地区協会	(11回目) 7,000円
おりづるの会	(1回目) 2,586円
どんぐりの会	(1回目) 3,000円
とんかつれすとらんたちばな	(2回目) 24,821円
株式会社愛・ジャパン	(3回目) 4,074円
福祉協力店	(3件) 6,681円
匿名	(9件) 46,883円

交通遺児基金へ	
那須塩原ライジングディスク協会	(62回目) 1,500円

善意銀行へ		
ニラク大田原加治屋店	(175回)	菓子類6箱
ZAPP黒磯	(103回)	菓子類1箱
ZAPP西那須野	(87回)	菓子類16箱
ガイアらくらく館黒磯店	(30回)	菓子類4箱
夢屋黒磯店	(3回目)	菓子類2箱
あじさいグループ	(2回目)	文具等596点
宇都宮螺子株式会社	(5回目)	タオル20枚他
大田原法人会西那須野支部女性部	(1回目)	タオル168枚
高林生きがいサロン	(5回目)	タオル500枚
匿名	(2件)	布団一式8組 手拭い200枚



大田原法人会西那須野支部女性部 様

いつも
ありがとうございます



誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点

平成30年4月1日～5月31日までに、次の事業所にご登録いただきました。

福祉協力店

事業所の名称（敬称略）	協力内容				
	①	②	③	④	⑤
菅間記念病院					

取組内容

- ①社協だより、ボランティア情報誌の設置
- ②募金箱の設置
- ③社協が実施する事業等のポスター掲示
- ④社協が運営する施設の製品販売
- ⑤その他、地域福祉への協力

地域支え合い推進員 西海 は見た!!!

(鍋掛公民館区担当)



このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。

初回は、鍋掛地区地域支え合い推進員が皆さんに地域の居場所を紹介します。

皆さん『立ち寄りカフェ』って聞いたことありますか??鍋掛地区にある『立ち寄りカフェ』は、「人が集まりやすく、地域の人が気軽に立ち寄れる場所があるといいね～」という地域の声から、地域の方そして地域包括支援センターの方と協力しながら『立ち寄りカフェ』が誕生しました。来ている方がお茶を飲みながら楽しくおしゃべりをし、参加者の皆さんが主役となり楽しまれている居場所です。参加者の中には“こんな素敵な居場所をみんなに知らせたい!”と、ブログやフェイスブックで皆さんにお届けしているんですよ。さらに、間もなく4か所目の立ち寄りカフェも誕生しようとしています。楽しみですね☆

このような居場所にお邪魔すると、皆さんから活力をもらいます。これからも地域にお邪魔し沢山の活動を見つけていきます。

※地域支え合い推進員とは…

那須塩原市では、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活がおくれるよう、平成27年度から地域住民助け合い事業を進めています。5年間かけ市内15の公立公民館の圏域ごとに進めていき、各公立公民館には、この事業を推進するための「地域支え合い推進員」を配置しています。



【立ち寄りカフェほのぼの】



【カフェはつはる】



【馬カフェ】

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます!



生活困・Q・係から…

Qってというのは
クエスチオンのことだよ!!



Vol.①

～生活困窮者自立支援に向けて～

生活困窮者自立支援法は、平成27年4月に施行され、今年で4年目になります。生活困窮者自立支援事業は、まだまだ新しい事業ということもあり、市民の皆様には知られていない部分もあります。そこで、今号から「生活困Q係から…」シリーズを連載することになりました。これまで、実際に相談に乗ってきた事例を紹介していきたいと考えています(※個人情報が出ないようにします)。事例を掲載することにより、「自分も同じ境遇だ」、「こんな話でも相談に乗ってもらえるんだ」、「近所に似たような境遇の人がいるぞ」などと感じた方は、ぜひ窓口でお話を聞かせていただきたいと思います。

この事業では、経済的に困りの方ばかりではなく、なかなか社会に出ることができない方、経済的には豊かだが、人間関係にお困りの方、お金の使い方に問題がある方など、様々な問題に直面している人の相談に乗っています。相談中も、相談者自身の今置かれている状況に寄り添いながら、相談者が自立に向けての歩みを踏み出せるように、一緒に考えていきます(伴走支援)。

次号では、「アパートを退去しなければならない男性への支援」についての事例を紹介します。

発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会

住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地 (健康長寿センター内)

TEL 0287(37)5122 FAX 0287(36)8710

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/> Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp

